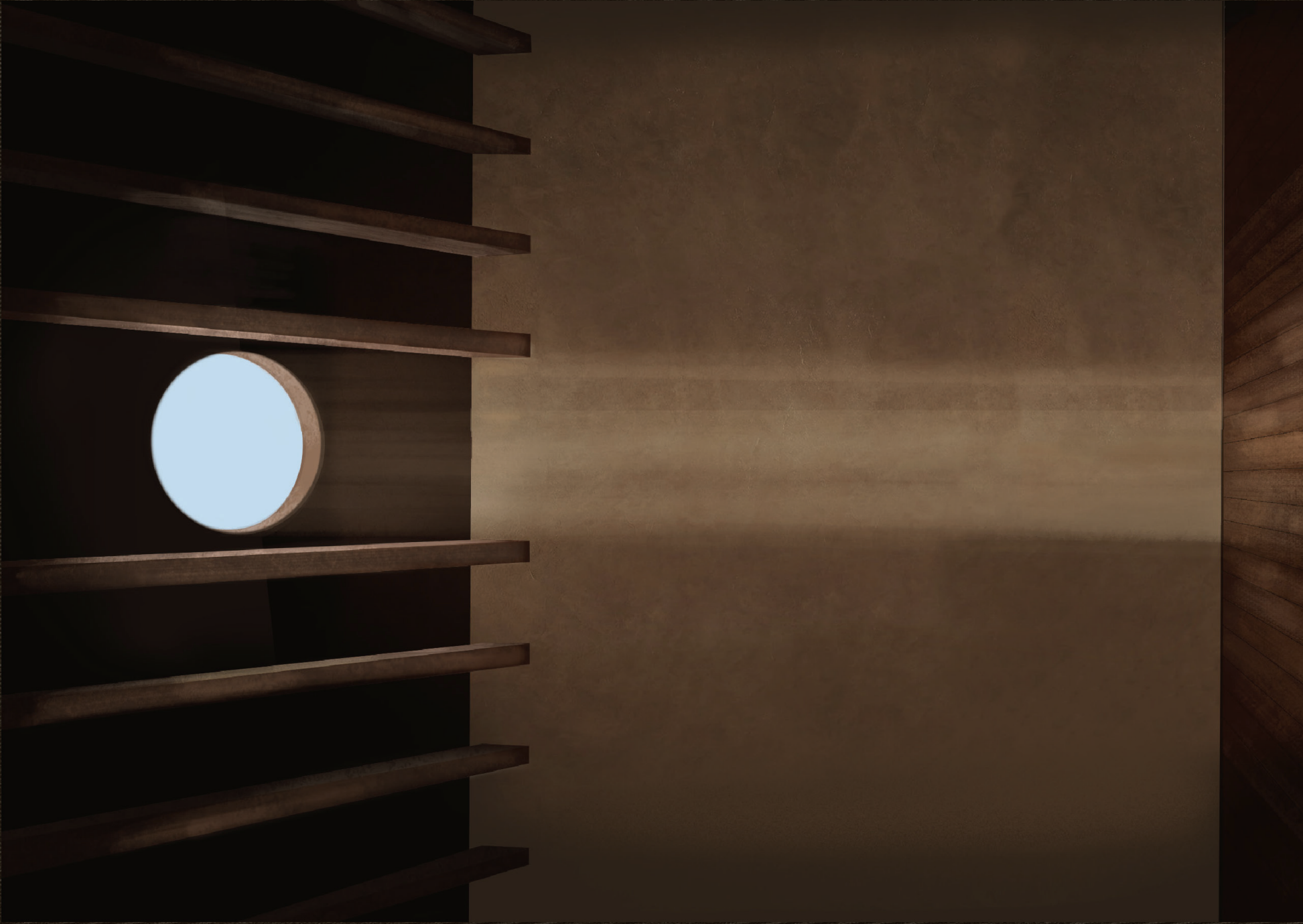




照空の間——光が映す余白

照空…光芒によって照らされた光の空間を指す

私達は、静けさによって生じる心の機微が和だと考えた。その中で光芒から感じる奥ゆかしさ、寂しさ、儚さは私達の解釈と一脈通づるものがあると感じた。照空は建物に意図せずとも生まれる空間であるが、そこに重きを置いて建てられる建築物は少ない。様式として定めることで照空を自然発生する存在ではなく、価値ある空間として捉えなおす。

- #1 1つの照空が暗闇の中につくられる。空間にただ一つ存在する照空は光によって生じる心の機微を感じ取りやすい。
- #2 照空による空間演出が行われている。照空が連続して存在することで空間全体が印象的なものになる。
- #3 囲炉裏のそばでくつろぐ人が照空に包まれている。照空の中の営みは光に満ちた部屋とはまた違った価値体験を生むだろう。